

- ◆ 関東財務局では、地域のオピニオン・リーダーである企業経営者等(埼玉県内の有力企業約30社)との関係を強固なものとするため、これらの方々にお集まり頂き、地域経済の中長期的な課題について自由闊達な情報・意見交換を行う場として「さいたま活性化サロン」を平成26年12月より開催。
- ◆ 27年度は、各地域において地方創生に関する議論が深まっていることを踏まえ、各地域における地方創生に向けた意識向上や取組への支援に資するよう、「埼玉県の人口動向」「生産性向上」「財政面の課題」など地方創生に関する個別テーマを中心に設定して、開催。今後も、活発な意見交換が行われるよう地方創生に関する多様なテーマ設定のもと継続して実施。

### 1. 成果事例の概要等

#### 《政府の重要課題》

厳しい財政状況、少子高齢化といった状況下、以下に全力で取り組む必要

- ・「人口減少・超高齢化」の克服
- ・「地方創生」

#### 《財務局の重要課題》

- ・地域とのネットワークを強化し地域経済活性化に寄与
- ・財務局の使命である「地域貢献」の達成

県内企業代表者  
・有識者 31名

関東財務局 9名  
(局長、各部長外)



## さいたま活性化サロン

施策に対する忌憚のない意見・要望



地域の課題について  
双方向の議論

※オブザーバー(3名)  
埼玉県経営者協会  
関東経済産業局  
埼玉県



【ゲストスピーカー】

地方創生に関する最新の情報を地域に提供

意見等を財務本省に伝達、政策形成に寄与

◇ サロンとは別に、財務局長がサロンメンバーを個別に訪問し、経営上の課題や地域の課題について意見交換を実施。

### 2. これまでの取組の成果等

- 平成27年度は、各地域において地方創生に関する議論が深まっていることを踏まえ、各地域における地方創生に向けた意識向上や取組への支援に資するよう、地方創生に関する個別テーマを中心に設定して、28年3月末までに6回開催。ゲストスピーカーによる基調講演の後、参加メンバーが企業経営者等としての経験・見識に基づき活発に意見交換。
- 各回の講演概要・資料は当局HPに掲載し、地域に広く還元。



【第9回会合の様様】

#### 【ゲストスピーカー・テーマ】

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| 第4回(27年 4月14日) 経営共創基盤代表取締役CEO     | 富山 和彦 氏 |
| 「日本経済、持続的成長への挑戦 G&Lの生産性向上戦略」      |         |
| 第5回(27年 5月26日) 野村総合研究所顧問          | 増田 寛也 氏 |
| 「地方創生と日本の課題」                      |         |
| 第6回(27年 9月14日) 慶應義塾大学経済学部教授       | 土居 丈朗 氏 |
| 「財政と社会保障の現状と課題」                   |         |
| 第7回(27年10月15日) 埼玉りそな産業経済振興財団主任研究員 | 萩原 淳司 氏 |
| 「埼玉県の人口動向と地方創生」                   |         |
| 第8回(27年12月10日) サービス産業革新推進機構代表理事   | 内藤 耕 氏  |
| 「サービス産業の活性化・生産性向上に向けて」            |         |
| 第9回(28年 2月10日) 政策研究大学院大学名誉教授      | 松谷 明彦 氏 |
| 「人口動態の変化に応じた経済・行政の改革」             |         |

#### 《参加者からの声》

- ✓ 事業に直結するテーマで企業経営上大変に参考となった。
- ✓ 多様な分野のリーダークラスが一堂に会する機会は他になく、有益である。
- ✓ 財務局が選んだ講師だけあって大変勉強になった。

### 3. 今後の課題と関東財務局の対応

#### 《今後の課題》

- より活発な意見交換が行われるようなテーマを適切に設定。

#### 《今後の関東財務局の対応》

- 参加者からの意見や要望について、財務本省に伝達するとともに、有用な意見等については財務本省における対応状況やコメントをフィードバックするなど、引き続き丁寧かつ踏み込んだ対応を行う。
- 第10回は、「地方創生に向けた中小企業の連携について」(28年4月12日)を開催。(講師:マテリアル代表取締役 細貝 淳一 氏)